資料８

市長会派遣職員について

１　現状

○派遣職員は、派遣職員配置要領により原則市制施行順とされており、現在は平成３年～４年の豊橋市をスタートとするサイクルの途中である。

○今年度は、豊明市（２年目）及び日進市（１年目）からの派遣であり、以降、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、長久手市の順となっている。

２　課題

○今後職員を派遣することとなる市は、合併により誕生した市や、単独で人口が５万人を超えたところであり、概して人口規模が小さい。また、日進市以降は初めての市長会への職員派遣となる。

○市が抱える課題の中には、人口規模等により内容や取組方策が異なるものがあることから、規模や成り立ちが類似した市からの派遣になると、事務局内部で様々な検討・調整を行う場合に、情報や判断基準に偏りが生じることが懸念される。

３　対応方策

○来年度（令和２年度）は、田原市（及び日進市）からの派遣とするが、その後は、市制施行が早い市と遅い市の組み合わせとなるよう調整する。

○令和３年度は豊橋市からの派遣とし、田原市と豊橋市の組み合わせ、４年度は愛西市からの派遣とし、豊橋市と愛西市、５年度は、愛西市と岡崎市とする。

○令和１７年度に長久手市と津島市の組み合わせにより一巡することとなり、その後は碧南市以降の２９市を２分し、上と下で組み合わせる。１８年度は、津島市と知多市の組み合わせとなる。

市長会派遣職員

派遣状況

年度	派遣団体	
Ｈ１	高浜市	岩倉市
2	岩倉市	豊明市
3	豊明市	豊橋市
4	豊橋市	岡崎市
5	岡崎市	一宮市
6	一宮市	瀬戸市
7	瀬戸市	半田市
8	半田市	春日井市
9	春日井市	豊川市
１０	豊川市	津島市
１１	津島市	碧南市
１２	碧南市	刈谷市
１３	刈谷市	豊田市
１４	豊田市	安城市
１５	安城市	西尾市
１６	西尾市	蒲郡市
１７	蒲郡市	犬山市
１８	犬山市	常滑市
１９	常滑市	江南市
２０	江南市	小牧市
２１	小牧市	稲沢市
２２	稲沢市	新城市
２３	新城市	東海市
２４	東海市	大府市
２５	大府市	知多市
２６	知多市	知立市
２７	知立市	尾張旭市
２８	尾張旭市	高浜市
２９	高浜市	岩倉市
３０	岩倉市	豊明市
Ｒ１	豊明市	日進市
2	日進市	田原市

※参考：市制施行順

1	名古屋市
2	豊橋市
3	岡崎市
4	一宮市
5	瀬戸市
6	半田市
7	春日井市
8	豊川市
9	津島市
10	碧南市
11	刈谷市
12	豊田市
13	安城市
14	西尾市
15	蒲郡市
16	犬山市
17	常滑市
18	江南市
19	小牧市
20	稲沢市
21	新城市
22	東海市
23	大府市
24	知多市
25	知立市
26	尾張旭市
27	高浜市
28	岩倉市
29	豊明市
30	日進市
31	田原市
32	愛西市
33	清須市
34	北名古屋市
35	弥富市
36	みよし市
37	あま市
38	長久手市

令和３年度以降（案）

現行順（市制施行順）

年度	派　遣　団　体	
Ｒ３	田原市	愛西市
４	愛西市	清須市
５	清須市	北名古屋市
６	北名古屋市	弥富市
７	弥富市	みよし市
８	みよし市	あま市
９	あま市	**長久手市**
１０	長久手市	豊橋市
１１	豊橋市	岡崎市
１２	岡崎市	一宮市
１３	一宮市	瀬戸市
１４	瀬戸市	半田市
１５	半田市	春日井市
１６	春日井市	豊川市
１７	豊川市	津島市
１８	津島市	碧南市
１９	碧南市	刈谷市
２０	刈谷市	豊田市
２１	豊田市	安城市
２２	安城市	西尾市
２３	西尾市	蒲郡市
２４	蒲郡市	犬山市
２５	犬山市	常滑市
２６	常滑市	江南市
２７	江南市	小牧市
２８	小牧市	稲沢市
２９	稲沢市	新城市
３０	新城市	東海市
３１	東海市	大府市
３２	大府市	知多市
３３	知多市	知立市
３４	知立市	尾張旭市
３５	尾張旭市	高浜市
３６	高浜市	岩倉市
３７	岩倉市	豊明市
３８	豊明市	日進市
３９	日進市	田原市
４０	田原市	愛西市
４１	愛西市	清須市
４２	清須市	北名古屋市
４３	北名古屋市	弥富市
４４	弥富市	みよし市
４５	みよし市	あま市
４６	あま市	**長久手市**

見直し案

年度	派　遣　団　体		
Ｒ３	田原市	**豊橋市**	※1
４	豊橋市	愛西市	
５	愛西市	岡崎市	
６	岡崎市	清須市	
７	清須市	一宮市	
８	一宮市	北名古屋市	
９	北名古屋市	瀬戸市	
１０	瀬戸市	弥富市	
１１	弥富市	半田市	
１２	半田市	みよし市	
１３	みよし市	春日井市	
１４	春日井市	あま市	
１５	あま市	豊川市	
１６	豊川市	長久手市	
１７	**長久手市**	津島市	
１８	津島市	**知多市**	※2
１９	知多市	碧南市	
２０	碧南市	知立市	
２１	知立市	刈谷市	
２２	刈谷市	尾張旭市	
２３	尾張旭市	豊田市	
２４	豊田市	高浜市	
２５	高浜市	安城市	
２６	安城市	岩倉市	
２７	岩倉市	西尾市	
２８	西尾市	豊明市	
２９	豊明市	蒲郡市	
３０	蒲郡市	日進市	
３１	日進市	犬山市	
３２	犬山市	田原市	
３３	田原市	常滑市	
３４	常滑市	愛西市	
３５	愛西市	江南市	
３６	江南市	清須市	
３７	清須市	小牧市	
３８	小牧市	北名古屋市	
３９	北名古屋市	稲沢市	
４０	稲沢市	弥富市	
４１	弥富市	新城市	
４２	新城市	みよし市	
４３	みよし市	東海市	
４４	東海市	あま市	
４５	あま市	大府市	
４６	大府市	**長久手市**	※3

※１　豊橋市からの派遣を開始

※２　R17年度で派遣が一巡するため、碧南市以降の29市を２分し、知多市からの派遣を開始

※３　長久手市からの派遣により一巡

【参考】

市　名	人口（平27国調）	職員数（平30.4.1）	平成以降誕生
名古屋市	2,295,638	34,975	—
豊橋市	374,765	3,631	—
岡崎市	381,051	3,768	—
一宮市	380,868	3,707	—
瀬戸市	129,046	746	—
半田市	116,908	1,410	—
春日井市	306,508	2,783	—
豊川市	182,436	1,868	—
津島市	63,431	1,028	—
碧南市	71,346	905	—
刈谷市	149,765	1,048	—
豊田市	422,542	3,394	—
安城市	184,140	1,095	—
西尾市	167,990	1,674	—
蒲郡市	81,100	1,144	—
犬山市	74,308	546	—
常滑市	56,547	909	—
江南市	98,359	654	—
小牧市	149,462	1,946	—
稲沢市	136,867	1,331	—
新城市	47,133	900	—
東海市	111,944	932	—
大府市	89,157	683	—
知多市	84,617	702	—
知立市	70,501	473	—
尾張旭市	80,787	610	—
高浜市	46,236	256	—
岩倉市	47,562	373	—
豊明市	69,127	413	—
日進市	87,977	495	市政施行
田原市	62,364	655	合併
愛西市	63,088	478	合併
清須市	67,327	450	合併
北名古屋市	84,133	529	合併
弥富市	43,269	346	合併
みよし市	61,810	536	市政施行
あま市	86,898	680	合併
長久手市	57,598	412	市政施行